

【中原様のご講演に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- NEDO の組織や国プロの状況が理解できてよかった。
- 多岐に渡る活動が分かった。資料提供に感謝します。
- 乗用車の稼働率4%を有効活用したい。
- 省庁の垣根を越えて日本国の利益になる成果を出すことが大事だと改めて感じた。
- 社会インフラ開発に関して、大規模な投資が必要で国全体として取り組む必要性が大いにあることを再確認した。
- グリーンイノベーション基金による日本の国策に大きな未来があることが理解できた。
- グリーンイノベーション基金が2兆円の規模で設定され、それが日本の産業競争力の回復に役立つとよいと思った。ぜひ新しい挑戦にも資金の投入をお願いしたい。
- 自動車の電動化に関するプロジェクトの内容を分かりやすくご説明いただいた。CO2排出に関し乗用車よりも電動化が困難な商用車における技術革新が重要であることもよくわかった。
- 商用車分野における電動車普及においては、乗用車に比べて稼働時間が跳ね上がることから乗用車以上に耐久性や信頼性が求められるが、メカ部品よりも壊れやすいモーターインバータ等の基板は交換する事を前提とした設計等が必要になってくるのではないかと感じた。
- 日本の置かれているエネルギー事情とその取り組みの現状を知ることができ参考になった。
- NEDO の組織や役割だけでなく、グリーンイノベーション基金事業での自動車関係の取り組みの概要がよく分かった。本プロジェクトへの応募を検討するためには、前回もしくは前々回に発表いただけるとうれしかった。また、プロジェクトテーマとして、EV用とはいえ、蓄電池・高性能モータの開発を一つの枠で募集されているのには少し戸惑った。ただ、公募資料を読むと中ではきちんと仕分けされており、さらに目標値を申請者に委ねるなど前広な姿勢に驚いた。是非知り合いに問い合わせ先を含めて応募を勧めたい。

【居村先生のご講演に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- 研究内容が網羅されていた。資料提供に感謝します。
- ワイヤレス給電の必要性など、全体的な話が良く理解できた。
- ワイヤレス給電の具体的な手法が実際には複数あることを興味深く勉強できた。
- 埋設の取り組み事例を紹介いただき、大変参考になった。
- 電気関係だけでなく機械的な要素の開発も推進されていてすごいと感じた。
- 居村先生の執念が伝わってきました。是非、このコンソーシアムに協力したい。
- DWPT 実用への技術課題はまだあるがやりがい、価値のある研究テーマだと思った。
- 居村研究室の幅広い取り組みについてご紹介いただいた。研究紹介をもう少し伺いたかった。
- PV+DWPT は発電と運輸の両方の CO2 低減に貢献するので正に社会全体の最適化への取り組みが大切ですね。キャンセルコイルとメインコイルのオフセット技術は素晴らしいです。
- スライドがたくさんあったが、オムニバスのようにとてもよく整理されていて良かった。特に、車両別要求電力とバッテリー残量の簡易モデルの項は、基礎データとしてどのような方式の走行中給電においても必須の検討で、おおいに参考になった。
- 電池コストとワイヤレス給電の建設費の比較論は非常に分かりやすく、社会全体としての取り組みが重要であることがよくわかった。
- 急速充電器を 2030 年までに 3 万基設置する目標があるが、これに必要な費用と東京-大阪間の走行中ワイヤレス給電設置費用とどちらが費用対効果が大きいかと気になった。
- 無線給電のインフラとして使用される配線資材の資源は十分なのか。またこれらのリサイクルは確立されているのか。道路は定期的に補修が行われていて、そして近年銅などの電気配線資材が高騰している。SDGs が急に騒がれているので、少し気になった。

【阿部様のご講演に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- ERS の研究開発の路側からの視点で全体像が把握でき勉強になりました。
- 電気工学ではない全く別の観点からのご苦勞、工事の重要性がよく分かった。
- 埋設に関する課題と世界の動向を幅広く紹介していただき、大変興味深かった。
- 社会インフラの大規模な投資になるため、多方面からの取組が必要であると感じた。
- 将来性については、コストをどのくらい低く抑えて設置できるかによると思った。
- 将来を見据えて取り組んでいる姿勢に共感した。国土交通省、経産省を巻き込む努力と苦勞の話も聞きたい。
- レーンタイプの接触給電は、一か所壊れると大変という話は聞いて納得した。非接触で、故障箇所だけ交換できるものの方がメンテナンス性も良いと感じた。
- 道路埋め込み実用化、実際の画像を拝見し、難しいがここが大きなポイントになるところと実感させられた。
- 走行中給電に関して、海外動向を多くの事例をもとにご説明いただき、分かりやすかった。一方で、日本ではスピーディーに実証実験が進みにくい現状であることも理解できた。
- パワー&インテリジェント道路は夢がある。期待したい。コイル等の埋設技術の進歩には驚いた。アスファルトの更新時にコイルをどのように分離処理するのかりサイクル（リユース）技術も気になった。先行する寒冷地のロードヒーティングはどうしているのか？
- 普段聞くことの少ない、道路舗装技術の専門家の見解としてとても参考になった。2013年に日産と共同で日本初の検討をされてから8年経つが、走行中給電は道路舗装の課題抜きには語れないと思う。ぜひ知見を盛り込んで走行中 WPT 給電の社会実装にご尽力ください。
- 普段何気なく当たり前のように利用している道路でありながら、何も知らなかったことに気づかされました。舗装道路への給電設備の実装や法律について、お国事情も含めて今まであまり聞く機会が無かった実用上の非常に重要なお話をいただき、興味深く聞き入りました。電池業界だけでなく、非接触給電用舗装の実現にも異業種間の連携が必要だと知って親近感が湧きました。

【質疑応答に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- ロードヒーティングの電力は大きいんですね。参考になりました。
- 具体的な実現化への軌跡とこれからのすべき目標が明確で良かった。
- 中国のワイヤレス給電車の話が気になった。
- 電動化の正しい理解や将来の日本にどのような事が必要なのか、国民の代表である議員の先生方にご理解いただき、省庁縦割りで非効率な施策にならないよう（血税の無駄にならないよう）議論を牽引してもらう必要があると感じた。
- DWPT の世界実証が進んでいるので日本メーカーも頑張っていきたい。

【自由記述欄（一部抜粋）】

- NEDO の取組を知れて大変参考になった。All JAPAN で走行中給電が進めばと感じた。
- カーボンニュートラルへの取組なども含めて、海外に比べて遅れている状況ではあり、業種間をまたがる連携により推進していく必要があることを感じた。
- 走行中充電技術や ERS の世界の動向を知る機会が少ないので、非常に勉強になった。
- ワイヤレス充電技術だけでなく、インフラとして提供するための道路適用の事例紹介は大変参考になった。
- 停車中のワイヤレス充電の開発自体が時間を要している中、走行中給電はまだまだ先と思っていたが、走行中給電の基礎研究・実証が、かなり進んでいる印象を受けた。学校と企業が粛々と未来を描き、準備を進める中、未来の電動化社会を支える未来に向けた国のエネルギー政策に不安を覚えた。
- CO2 削減に貢献する EV、電化が実際にはかなり難しく、こうした技術にもっと真剣な取り組みが CO2 削減の具現化には必要であることを実感させられた。
- 今回のご講演でこれまで知らなかった道路や道路を取り巻く法律やお役所に気付かされ、そして各国の取り組みから、未来の道路に向けた変貌が少し垣間見えた。